

基礎利益

▶ P160

3,525億円

平成29年度の基礎利益は3,525億円、変額年金保険に係る標準責任準備金の影響等を除いた実質的な基礎利益は3,507億円となりました。

基礎利益・実質的な基礎利益のいずれにおいても、外国債券の投資拡大による運用収支の向上等により前年度比増加しており、グラフのとおり堅調に推移しています。

基礎利益等の推移



※折線グラフは基礎利益を表しています。

※棒グラフは、変額年金保険に係る標準責任準備金の繰入額等・戻入額等を除いた実質的な収益水準を表しています。

※平成26年度決算より、個人年金保険の年金開始後契約の一部および第三分野保険の一部について、前年度以前に追加して積み立てた責任準備金からの戻入額を基礎利益に含めています。

※平成29年度は、基礎利益から、マーケット・ヴァリュー・アジャストメントに係る解約返戻金変動の影響額及び外貨建保険契約に係る市場為替レート変動の影響額を除いています。この変更により、平成29年度の基礎利益は104億円減少し、キャピタル損益は104億円増加しております。

経常利益等の状況(基礎利益の状況)

(単位:億円)

区分	平成28年度	平成29年度
基礎利益 (A)	3,376	3,525
うち保険料等収入	33,154	25,085
利息及び配当金等収入	5,888	6,134
うち保険金等支払金	19,992	19,723
変額年金保険に係る標準責任準備金繰入等(△は戻入等)	△17	△18
事業費	3,468	3,285
キャピタル損益 (B)	△492	△463
臨時損益 (C)	△596	△762
経常利益 (D=A+B+C)	2,287	2,299
特別利益 } (E)	170	176
特別損失 }	△1,566	△1,799
税引前当期純剰余	891	676
法人税及び住民税 } (F)	479	604
法人税等調整額 }	△449	△581
当期純剰余 (G=D+E-F)	862	654

(ご参考)基礎利益の内訳(三利源)

(単位:億円)

区分	平成28年度	平成29年度
基礎利益	3,376	3,525
保険関係差益	2,809	2,883
うち死差益	3,128	3,045
うち費差益	347	637
順ざや額	567	642

経常利益

▶ P160

2,299億円

基礎利益(A)にキャピタル損益(B)、臨時損益(C)を加えた経常利益(D)は2,299億円となりました。

当期純剰余

▶ P148

654億円

経常利益(D)に、特別利益・特別損失(E)を加え、法人税及び住民税・法人税等調整額(F)を控除した当期純剰余(G)は654億円となりました。